

◆ 平成 25 年度（後期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	学科長 高等教育推進部 門学科委員 学科教務委員	①10 月中に学科の専門科目 や大学生活全般を内容として 3,4 年生向けに実施、 回収。 ②11 月中にポリシーの観点 からカリキュラムをチェ ックする内容で教員向け にアンケートを実施。	学科の教員会議 (会議室)および 教員会議終了後 (ラーニングコ モンズ)等	<p>テーマカリキュラム見直しに係るアンケートの実施・分析とカリキュラムマップを題材としたファシリテーション研修</p> <p>実施目的</p> <p>① 平成 27 年度の新カリキュラム導入に際しての内容を検討するため。</p> <p>② 学科内 FD として申請採択されたファシリテーションを中心とするグループワークの研修を進めるため。</p> <p>実施内容 (キーワード: カリキュラム, ポリシー, ファシリテーション)</p> <p>① アンケート調査の実施と分析</p> <p>11 月現在, 分析中。同時に時間割作成上の問題を確認する意味で最も配当科目が多い 2 年生向けに時間割アンケートを実施, 回収。11 月現在, 分析はほぼ終了。今後これらの分析をもとに, 学科会議でよりよいカリキュラムの作成とポリシーの確認とを行う。</p> <p>② カリキュラムマップを題材としたファシリテーション研修</p> <p>現在分析中。今後はこれを題材としてファシリテーション研修を行う。</p>
経営情報学部 経営学科	栗島浩二 平野実 和田崇	平成 25 年度 10 月 3 日 (木) 4 時限開講予定 ※その他、連携先企業および 担当教員間の打ち合わせ (6 月～適時)	広島キャンパス 大講義室 (2143 教室)	<p>テーマ企業との連携による新たな学際的講義構築への取り組み</p> <p>実施目的実際の企業活動の現場で, どのようなことが行われているか。また, その企業活動について経営学の理論的な枠組みとしては, どのような研究の蓄積があるのか。正に経営学としての理論と実践について, 外部企業の担当者にケーススタディを提供してもらい, それを教員が解説を加えて理解を深める。教員が用意したケーススタディを使って授業を行うスタイルは一般的に存在するが, 企業の担当者によるケースの提供は日本ではまだ少ない。また更に複数の科目でケーススタディを共有するという点から, この事業の学際的意義があると言える。</p> <p>実施内容 (キーワード: 企業との連携, ケーススタディ, 学際的講義)</p> <p>平成 25 年度後期開講予定の経営学科専門科目および経営情報学部共通科目 (計 3 科目) を合同で 1 コマをマツダ (株) 様との連携授業として開講する。地域密着企業として広島に大きな存在感を有するマツダ (株) のケーススタディを, 3 つの授業の共通ケーススタディとして提供する。また, 当該授業を他学部他学科の学生および教職員に公開する。※経営学科対象専門科目 3 科目 (マーケティング論, 組織行動論, 地域マネジメント論)</p> <p>その他講義タイトル (仮)「広島発の技術革新がもたらしたもの: 県立広島大学の 800m 先で何か起きた」</p>
保健福祉学部 看護学科	山中道代	平成 25 年 12 月, または 26 年 2 月頃 3 時間～3 時間半	保健福祉学部 講義室	<p>テーマ面接技法を学ぶ</p> <p>実施目的看護学科 FD 活動として, 教育改善を行い良い看護師を輩出するため努力している。大学がユニバーサル段階にある現在, どのようにして優秀な学生を確保するかも大きな問題である。そこで, 入学試験での面接で良い学生を確保するため, 教員が面接技法を身につける取り組みを行うことを検討している。</p> <p>実施内容 (キーワード: 面接技法, 学生確保)</p> <p>面接官として必要な姿勢及び, 人材を観るための質問テクニックなどについて, 講義・演習により学ぶ。</p>

保健福祉学部 理学療法学科	田中 聡学科長	<p>・学科会議時の討議・検討は 毎週水曜日・4時限目</p> <p>・勉強会としては月1回第2 水曜日・4時限目</p> <p>・臨床実習指導者会議時の ワークショップは平成26年 1月末</p>	三原キャンパス 2号館2406会議 室および2313講 義室	<p><b>テーマ</b>理学療法学科における学内および臨床教育の改善</p> <p><b>実施目的</b>学生の学内および学外（臨床実習）での学習を支援する。また、学科教員の教育方法論に関する知識・技術を深める。また、臨床実習指導者会議時にワークショップを開催し、学内教育と臨床教育の溝を埋める。</p> <p><b>実施内容</b>（キーワード：学習支援、臨床実習、教育方法）</p> <p>① 臨床実習中の学生の学習支援、および学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援について対応を討議する。</p> <p>② 主として教育方法に関わる勉強会を実施する。</p> <p>③ 臨床実習指導者会議時に教員と実習指導者としてワークショップを開催する。</p> <p><b>その他</b>勉強会の場合は学部全体に事前に内容等についてメールにて案内し、他学科よりの参加者を認める。</p>
保健福祉学部 コミュニケーション障害 学科	渡辺眞澄 津田哲也	詳細日程は調整中である。 毎回の開始時間は12:10～	1309 演習室 その他	<p><b>テーマ</b>教員および実習指導者の研究・教育方法の共有と向上</p> <p><b>実施目的</b>コミュニケーション障害学科の教員間、および教員と学外実習施設の言語聴覚士との間で、各々が行っている研究・教育・指導方法の工夫内容を共有することにより、研究・教育の向上をはかる。</p> <p><b>実施内容</b>（キーワード：研究、教育の工夫、研究会報告）</p> <p>教員が行っている研究の紹介、教育における工夫、参加した学会・研究会の報告、意見交換を行う。後期は、耳鼻咽喉科学、発声発語障害、脳画像研究、言語発達障害等に関する研究紹介が予定されている。実施はおおよそ月に1回のペースで行う。</p>
保健福祉学部 人間福祉学科	江本純子	①～⑤いずれも週1回から月 1回程度で行い、さらに学科 会議（月1回実施）で検討を 深める。	いずれも三原キ ャンパス内で実 施	<p><b>テーマ</b>福祉を学ぶ学生の入学前から卒業に至るまでの包括的支援</p> <p><b>実施目的</b>人間福祉学科では、学生の入学前から卒業後に至るまで一貫した支援を実施すべく、平成25年度から6つのチームを組んで、会議を開催している。今年度前期のFD活動は、このうち、入試対策等会議、チューター学生相談等会議、就職活動国家試験対策等会議、社会福祉等実習会議、精神保健福祉等実習会議が中心になって行う詳細な検討を主軸にして展開し、充実した活動を行っている。今年度後期も同様により一層の充実をはかる。</p> <p><b>実施内容</b>（キーワード：学習支援、実習教育、国家試験対策支援）</p> <p>① 入試対策会議：入学前の学生に社会福祉に関する理解を深めるための活動を行う。</p> <p>② チューター学生相談等会議：学生生活全般（学習を含む）についての支援を行う。</p> <p>③ 就職活動国家試験対策等会議：求人情報・内定状況検討、国家試験対策学習会の運営を行う。</p> <p>④ 社会福祉等実習会議・精神保健福祉実習会議：現場実習教育に関する検討を行う。</p> <p>⑤ 効果的な授業のあり方と評価等に関する検討(ピアレビューを含む)を行う。</p>
保健福祉学部附 属診療センター	林 優子	12月16日（月）5時限目 （16時20分～17時50分）	1101 大講義室	<p><b>テーマ</b>医療機器の安全管理（コーディネーター：日本光電中四国株式会社 安全管理担当 横山清登）</p> <p><b>実施目的</b>県立広島大学三原キャンパス教職員（特に附属診療センター従事者）が、医療機器の基本的な最新の安全知識を持ち、学生への教育や臨床に反映させる。医療安全の知識は大学運営や医療以外の備品管理にも有用である。</p> <p><b>実施内容</b>（キーワード：医療安全、医療機器、リスクマネジメント）</p>